

Economic Indicators

発表日: 2021年11月17日(水)

貿易統計(2021年10月)

～自動車輸出の大幅減を主因として3カ月連続の赤字～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
副主任エコノミスト 大柴 千智 (TEL: 03-5221-4525)

		貿易収支(億円)				輸出数量				輸入数量			
				輸出金額	輸入金額								
		原数値	季調値	前年比	前年比	前年比	アメリカ	EU	アジア	前年比	アメリカ	EU	アジア
20年	10月	8,408	5,516	▲ 0.2	▲ 12.8	▲ 1.4	0.7	▲ 8.3	3.2	▲ 5.4	▲ 21.3	▲ 8.3	▲ 2.3
	11月	3,259	7,030	▲ 4.2	▲ 10.5	▲ 3.8	▲ 2.6	▲ 7.2	▲ 4.0	▲ 2.0	▲ 19.1	▲ 12.7	4.7
	12月	7,083	7,678	2.0	▲ 10.9	0.1	▲ 3.3	▲ 8.0	5.4	▲ 1.9	▲ 22.8	▲ 1.1	2.3
21年	1月	▲ 3,272	6,167	6.4	▲ 9.5	5.4	▲ 8.7	▲ 26.5	18.4	▲ 4.1	▲ 10.5	▲ 10.9	▲ 2.9
	2月	2,117	264	▲ 4.5	11.8	▲ 4.4	▲ 16.4	▲ 24.2	▲ 0.2	21.9	▲ 7.9	1.6	43.8
	3月	6,578	3,080	16.1	5.7	12.6	3.9	▲ 7.2	20.4	3.8	▲ 0.7	9.0	8.4
	4月	2,488	797	38.0	12.7	28.5	37.8	13.4	23.0	1.1	▲ 4.8	5.2	4.4
	5月	▲ 1,934	▲ 185	49.6	27.7	38.5	77.6	37.9	21.6	6.8	5.0	23.3	7.1
	6月	3,789	▲ 1,454	48.6	32.5	37.2	79.7	25.0	26.1	8.2	9.1	27.0	8.7
	7月	4,358	▲ 302	37.0	28.1	25.2	19.4	38.9	20.4	2.0	2.3	▲ 0.6	4.5
	8月	▲ 6,431	▲ 3,290	26.2	44.5	13.7	13.2	29.2	11.1	14.4	12.8	28.2	13.1
	9月	▲ 6,241	▲ 6,055	13.0	38.2	3.3	▲ 9.8	15.3	8.9	7.4	17.0	6.2	6.7
	10月	▲ 674	▲ 4,447	9.4	26.7	▲ 2.6	▲ 8.2	5.2	▲ 0.1	▲ 3.1	2.0	2.3	▲ 4.4

(出所)財務省「貿易統計」、前年比(%)

○自動車減産による輸出減と原油高騰による輸入コスト増により、貿易収支は3カ月連続赤字

財務省より発表された10月の貿易統計によると、貿易収支は▲674億円の赤字(コンセンサス: ▲3,200億円、レンジ: ▲9,949億円～▲662億円)となり、3カ月連続の赤字となった。輸出金額は前年比+9.4%(コンセンサス: +10.5%、レンジ: +4.0%～+13.4%)、輸入金額は同+26.7%(コンセンサス: +31.8%、レンジ: +27.2%～+44.6%)となった。部品調達難による大幅減産を背景に低迷が続いている自動車輸出だが、10月も前年比▲36.7%(9月▲40.3%)もの減少となったことで、輸出全体が大きく下押しされる状況が続いた。その一方で、輸入については、原油価格の高騰を反映して前年比の伸びが高止まりする状況が続き、貿易収支は赤字推移が続いている。

季節調整値では、輸出金額が前月比+2.7%、輸入金額が同+0.3%となり、貿易収支は▲4,447億円の赤字となった。

○実質輸出は、自動車減産の影響による弱い基調が続く

為替などの価格変動の影響を除いた10月の実質輸出は、前月比+1.1%(9月: 同▲6.1%、実質化・季節調整は第一生命経済研究所試算)と5カ月ぶりにプラスとなった。もっとも、供給制約の影響が鮮明となった8月(前月比▲2.0%)、9月(同▲6.1%)の落ち込み分を取り戻せていない。自動車減産による輸送用機器の減少(前月比▲1.7%)が続いたことで、全体でも弱い基調となっている。

前月比について国・地域別にみると、米国向けが前月比+3.8%、EU向けが同+0.1%、アジア向けが同▲0.6%、アジア向けのうち中国向けが同▲0.9%となった。

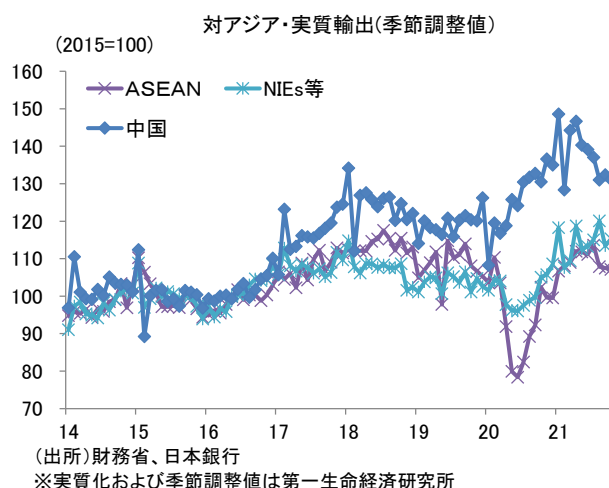
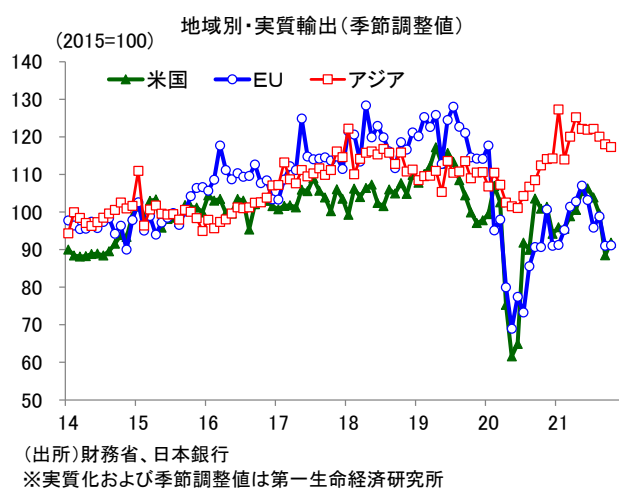
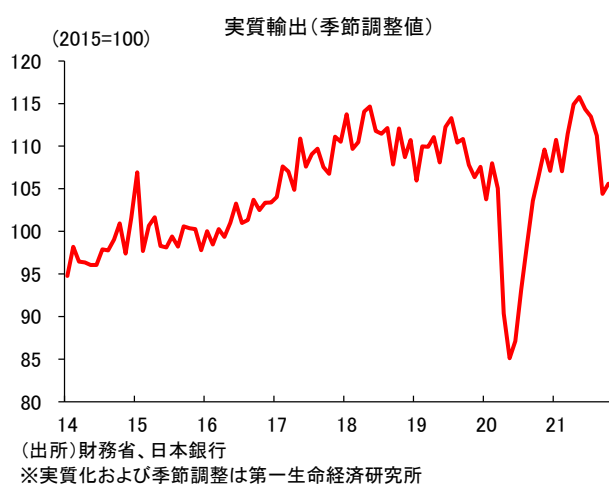
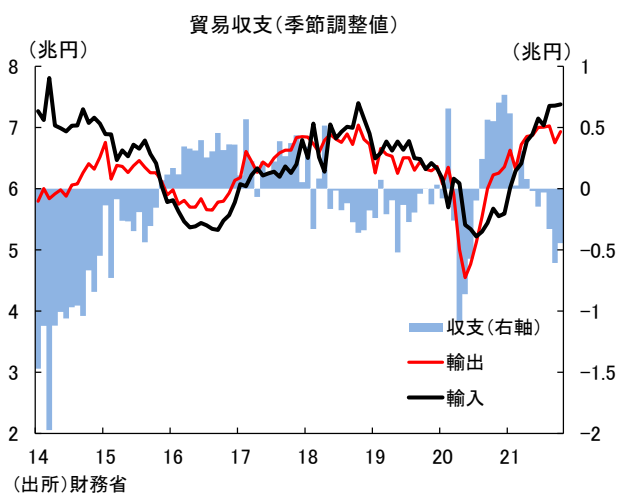
米国向けは、輸送用機器が3カ月ぶりにプラス転化（前月比+6.1%）したことで、米国向け輸出全体も3カ月ぶりの上昇となった。米国向け輸出は自動車占めるウエイトが大きいため、今後は自動車生産の回復を待って徐々に復調するとみられる。半導体等製造装置を牽引役とした一般機械等の資本財は、堅調な推移が続いている。中国向けは、一般機器や電気機器といった資本財が前月比で鈍化しており、輸出全体でも減速感が強まっている。足元では中国景気の減速を示す指標が増えており、先行きが懸念される。

○輸出は自動車生産の回復を待って復調。当面は赤字推移が続く

10月の貿易収支は3カ月連続の赤字となった。供給制約による自動車輸出の減少と、エネルギー価格高騰を反映した輸入コストの増加による貿易赤字の構図が鮮明となっている。

もっとも、自動車メーカーの計画では、11月には減産幅が縮小する見通しで、計画通りに生産が続けば自動車輸出も徐々に水準を戻すだろう。海外の景気回復により、資本財や情報関連財輸出が好調を維持していることから、自動車生産の回復を待って輸出は回復基調に復帰するとみられる。

輸入については、当面は既往の原油高を反映して高水準での推移が見込まれる。足元のドバイ価格は80ドル/バレル前半での推移が続いていることから、11月以降もエネルギー関連での輸入物価の上昇が続くことで輸入は高い伸びが続くだろう。また、政府の方針では、早ければ12月から3回目のワクチン追加接種が実施されることも想定されるため、今後ワクチン調達が加速する可能性もある。しばらくは輸入の伸びが輸出を上回る展開が続き、貿易収支は赤字が続くとみられる。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。